

カキ生育情報

千葉県
平成29年9月号

平成29年8月の気象

平成29年8月の半旬別の気象を表1に記した。平均気温は第1、第3及び第4半旬で平年を下回った。月平均気温は25.6℃で、平年及び前年より0.4℃低かった。

降水量は第2及び第4～第6半旬で平年を下回り、第5半旬には降雨がなかった。月合計は140mmで、平年の97%、前年の60%であった。

日照時間は、第2及び第5半旬を除く4半旬で平年を下回った。月合計は156時間で平年の72%、前年の92%であった。

台風5号が8月7日に紀伊半島に上陸し、近畿地方から北陸地方を通過したが、直接の影響はなかった。

表1 平成29年8月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	24.5	26.0	26.1	78	21	20	15	36	31
2	27.4	26.1	27.2	4	27	0	38	36	42
3	23.7	26.2	25.0	53	25	0	4	35	29
4	25.0	26.0	26.4	2	22	75	17	35	11
5	27.3	25.9	26.1	0	19	130	44	35	18
6	25.9	25.7	25.4	4	30	7	37	40	38
平均/計	25.6	26.0	26.0	140	144	232	156	217	169

果実の発育

8月30日現在のカキの果径を表2に示した。横径は、「西村早生」及び「松本早生富有」では2地区の平均でみるとそれぞれ6.47cm、6.04cm、「富有」では6.58cmであった。本年の横径は、「西村早生」では平年より4%大きく、前年と同程度であった。「松本早生富有」は平年より2%、前年より7%小さかった。「富有」では平年より2%大きく、前年より2%小さかった。

縦径は、「西村早生」と「松本早生富有」では2地区の平均でみるとそれぞれ4.79cm、4.49cm、「富有」は4.95cmであった。本年の縦径は、「西村早生」は平年より4%大きく、前年より1%小さかった。「松本早生富有」では平年より1%、前年より8%小さかった。「富有」では平年より1%大きく、前年より1%小さかった。

果形指数は、「西村早生」及び「松本早生富有」では2地区の平均でみるとそれぞれ1.35、1.34、「富有」では1.33であった。本年の果形指数は「西村早生」では平年並、「松本早生富有」は平年より小さくやや縦長、「富有」は平年より大きくやや横長の傾向であった。

本年の果実の生育は、市原市の「松本早生富有」が小果の傾向であるが、他の調査地は順調である。「西村早生」の収穫期は平年とほぼ同様に9月中旬から10月上中旬までと予想される。

表2 果実の発育（8月30日の果径）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	6.34	6.17	6.20	4.67	4.60	4.77	1.36	1.34	1.30
	暖地園研	6.60	6.29	6.77	4.91	4.60	4.89	1.34	1.37	1.38
	平 均	6.47	6.23	6.49	4.79	4.60	4.83	1.35	1.36	1.34
松本早生 富有	市原市	5.36	6.09	6.30	4.07	4.38	4.86	1.32	1.39	1.30
	暖地園研	6.72	6.30	6.62	4.91	4.68	4.89	1.37	1.35	1.35
	平 均	6.04	6.19	6.46	4.49	4.53	4.88	1.34	1.37	1.33
富有	暖地園研	6.58	6.42	6.69	4.95	4.92	4.99	1.33	1.30	1.34

果形指数：横径／縦径

平年：暖地園研は1990年～2016年の平均、いすみ市、市原市は1998年～2016年の平均

9～10月の作業

収 穫

「西村早生」の収穫が始まり、いよいよ収穫シーズンの到来である。カキの果実は樹上で成熟しながら大きくなり、収穫後に品質が向上することはない。早採りすれば、大きさ、品質の面で適熟の果実より劣るので、収穫前にはカラーチャートを用いて果皮色を確認し、適熟果の収穫に努める。適熟の色はへた部の果皮色で判断し、「西村早生」、「富有」はへた部4、「松本早生富有」はへた部4.5を目安にする。特に、「西村早生」は果頂部とへた部の果皮色の差が大きいため注意が必要である。また、「西村早生」では渋果の混入を防ぐため、必ず渋果判定機による選別を行う。

追 肥

貯蔵養分の多少は、翌年の樹の生育と着花量を左右する。貯蔵養分を蓄積させるため、礼肥を施す。「西村早生」などの早生品種では収穫直後の10月中旬頃、「松本早生富有」、「富有」及び「次郎」などの中晩生品種では着色初期となる10月中下旬頃を目安に、速効性肥料で施用する。窒素の成分量で、年間施肥量の15%程度となる2～3kg/10aが適当である。

病虫害防除

9月上旬～中旬にカキノヘタムシガ、コナカイガラムシ類を防除するため、バンド誘殺を行う。カキノヘタムシガの被害果は地中に埋没する。炭疽病又はうどんこ病の発生が多い園では、9月下旬までが防除適期である。防除の際には、早生品種と中晩生品種の混植園では収穫前使用日数に十分注意する。これらの防除は、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に基づいて行う。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>